



自然通気形開放式石油ストーブ
ALPACA+ アルパカプラス石油ストーブ純正しん型式
TS-77NW

純正しん 取扱説明書

- しんの交換をする前に、必ずこの「取扱説明書」を読んで、正しくおこなってください。
- しん交換後はじめて使用するときは給油後、必ず20分以上待ってから点火してください。
- 燃料は必ず良質の「JIS 1号灯油」を使用してください。

品名	アルパカプラス石油ストーブ 純正しん	種類	普通筒しん
適合型式	TS-77NC	呼び寸法	径95mm×厚3mm×長200mm
■ 製造年月 :	■ 製造番号 :		

株式会社イルム お客様相談窓口 フリーコール 0120-905-049

●特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）

ここに示した事項は「注意」を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

マークは「禁止」

マークは「指示」

⚠ 注意《CAUTION》

❖ 不良灯油(変質灯油・不純灯油)の使用は禁止です。

長期保管で性質が変化してしまった変質灯油や、水や異種の油などが混入した不純灯油は、絶対に使用しないでください。故障（火がつかない、火が消えない、しんが動かない）や、異常燃焼の危険があります。

不良灯油禁止



❖ 高温部への接触は禁止です。

必ずストーブを消火し、ストーブの温度がじゅうぶんに下がってからおこなってください。やけどやケガなどの危険があります。

接触禁止



❖ しんが適合する機器か確認してください。

このしんは、アルパカプラス TS-77NW専用です。ご確認ください。

機器確認



❖ 保護具を着用してください。

やけどやケガなどの防止のため、手袋や軍手をはめておこなってください。やけどやケガのおそれがあります。

保護具着用



❖ しん交換後に作動確認をしてください。

- しんの上下操作をして、しんの上下が円滑にでき、しんの高さが均一にそろっていることを確かめてください。
- 対震自動消火装置を作動させて、しんが確実に下がることを確かめてください。
- 点火操作をして、正常に燃焼することを確かめてください。

作動確認



❖ 廃棄時に注意してください。

交換したしんは乾燥させ、ビニール袋に入れてから廃棄してください。

灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

予測しない事故が発生する原因となります。

廃棄指示



しん交換の手順

⚠ 注意《CAUTION》

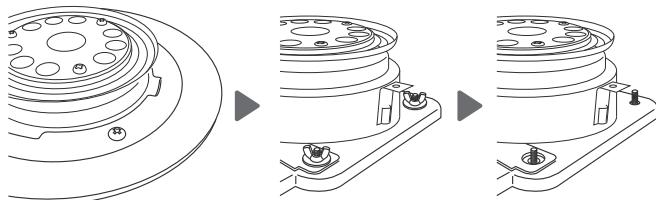
❖しん交換後はじめて使用するときは給油後、20分以上待ってから点火してください。

作業時は軍手などをしてやけどやケガなどしないよう、注意しながらおこなってください。

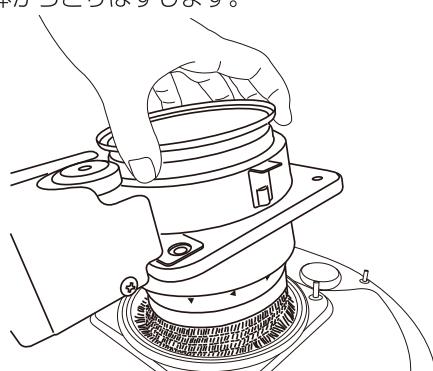
- 1** フレームを固定しているフミリの下枠リング取り付けナット（3個）をペンチや六角レンチではずした後、フレーム全体をとりはずします。

- 2** 燃焼筒をはずします。
※ガラスの破損に注意してください

- 3** 蝶型ナット・ワッシャ（4箇所）を反時計の方に回して、はずします。
※はずしにくい場合はペンチを利用します

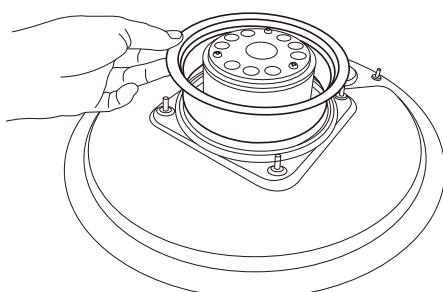


- 4** 対震自動消火装置をゆっくりと持ち上げ、本体からとりはずします。



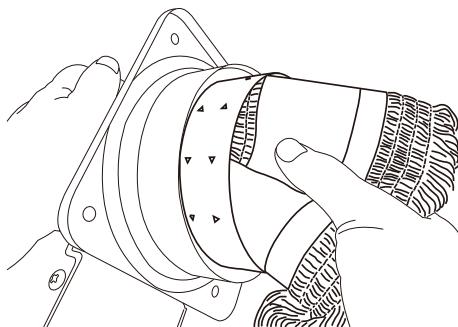
注意

対震自動消火装置を取りはずす際、逆火防止筒が同時に上がってきます。逆火防止用の重要な部品ですので、⑧対震自動消火装置を装着する前に、必ずタンク本体側にセットします。

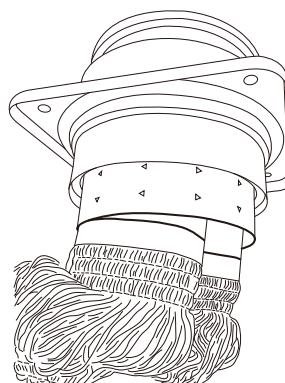


- 5** 油タンク内側の中の異物を紙やすりやドライバーなどでかきだし、布で磨きます。このとき水気や異物が残っていると、新しいしんに交換しても火がつかなかったり、火力が弱くなることがあるため、きれいに除去します。

- 6** 使用済みのしんを取り出します。
※突起物でケガしないように注意してください



- 7** 新しいしんの黄色部分の線としん管内枠最下部ラインを均等になるように合わせながら手で押しつけ、しん管内枠部に密着させてください。
※しんの出すぎは火力が強くなりすぎて危険です。



- 8** 対震自動消化装置を装着し、蝶型ナット（ワッシャ4箇所）をすべて同じくらいの強さで締めてください。

- 9** 燃焼筒を正常な位置に乗せフレームをかぶせ下枠リング取り付けナット（3個）を締めて固定してください。

※点火操作をする前には、必ず燃焼筒が正しく対震自動消火装置の燃焼筒受け部にセットされているか、燃焼筒取っ手を左右に2~3回動かして、スムーズに動くことを確認してください

※燃焼筒がずれてしんを踏んでいると、すすが出て異常燃焼の原因となり危険です